

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称					実施主体		
中区区民フェスタ事業					中区区民フェスタ実行委員会		
事業目的		事業内容		活動指標	R3	R4	R5
中区の住民や、区域内で働く人々の親睦交流、連帯を深め、健康の大切さや防犯、交通安全等への意識高揚を図り、それによって区民が健康で安全安心に暮らすことのできる地域社会の実現を目的とする。		《原池公園会場》 総踊り、ステージ発表、ブース出展、フリーマーケット等 《ソフィア・堺会場》 洋服等のシェアリング、廃材ワークショップ等		参加者数	新型コロナウイルスの影響により中止 （代替事業実施）	41,000	40,000
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
◎	地域と行政が協働して企画運営することにより、良好な関係構築に繋がるとともに、地域コミュニティの活性化にも寄与する。また、多くの住民が参加、参画する本事業は住民の意見を伺う貴重な機会となっており、市の政策形成を行う上で重要なものである。	◎	企画内容等については、校区代表者を中心に構成する実行委員会によって議論し、地域の意見を反映した上で決定している。また、当日の運営についても、様々な催しを地域と行政が連携しながら実施している。	◎	原池公園会場では、地域サークル等によるステージ発表、地域や関係団体によるPRブース、フリーマーケットや野球教室、さらには参加型の総踊りなど、会場の特性等を生かした催しを実施した。また、ソフィア・堺会場では、洋服シェアリングや廃材ワークショップなど、SDGsの推進にかかる市の取組方針を踏まえた催しを実施した。	◎	防犯・交通安全等の意識啓発事業である中区安全安心まちづくりフェスティバルと統合し、同時期に一拠点で開催することにより、集客力の向上、参画する住民の負担軽減及び行政の業務効率化につながった。さらに、地域からの負担金や関係団体からの協賛金等により公金以外の収入を確保するとともに、運営の一部を地域のマンパワーで補い経費削減に努めるなど、コスト意識が高い事業である。
⑤自立発展性		総合評価					
△	本事業は地域と行政が協働して開催する中区最大の催しであり、実施にあたっては、様々な関係団体との綿密な調整等が必要となり、事業の全てを住民が自立して取り組むことは困難である。	◎	多様な世代が楽しむことができる出展ブース、ステージ発表のほか、子ども向けの野球教室やふれあい動物園、また、高齢者向けの講習会、健康啓発コーナー、さらには総踊り、フリーマーケットなど、様々な催しを実施したことにより、昨年度と同程度の参加者数を達成し、地域コミュニティの活性化等に寄与した。				
今後の方向性（課題、改善提案等）							
拡充 継続 見直し 廃止	昨今の社会情勢等により様々な費用が増加傾向であることから、現状の事業規模を維持しつつ、コスト削減に努める方法等について実行委員会で議論を進める。						